

「おかやま後継者アカデミー」受講生に聞く!

～今後10年間で経営者の5割超が直面する「事業承継」に計画対応!～

山陽クレー工業株式会社(備前東商工会会員事業所)の模範的な取り組みをご紹介します

山陽クレー工業株式会社(瀧本弘治社長)は、昭和13年、備前市吉永町に創業。現在の社長で3代目となり、平成27年4月に8年間の社会人経験を経た後継予定者(3人兄弟の長男)が家業に入りました。特に、「湿式クレー製造」と「乾式クレー製造」の両生産体制を備えたクレー製造工場は日本唯一であり、大学との連携体制による研究開発にも注力する等、研究開発型の企業として売上規模は業界トップクラスを誇っています。今回は、計画的に事業承継の準備を進め、成果を収めている同社の取り組みをご紹介します。



左:後継予定者の亮氏、右:弘治社長

社にもある「クレー」とは、天然鉱石から工業的に精製した粘土鉱物の微細な粒子の集合体を言い、別名「ろう石クレー」とも呼ばれ、地域産業資源にも認定されています。最終製品としての用途は、ゴム、塗料、接着剤、農薬、紡績、医薬品のキャリアー(各製品の機能を最大限に発揮させるための潤滑材の役割を果たす必要不可欠な素材)としての役目を果たしています。原料となる国産ろう石は、当社周辺(岡山県備前市)と広島県庄原市でしか採掘できない希少鉱石ですが、岡山県備前市だけでも埋蔵量は推定100年分と確認されています。



我が国の「事業承継」・「後継者育成」は「待たなし!」のところにきている

我が国を取り巻く事業承継の実態は、今後10年間で、約5割を超える現経営者が平均引退年齢(中小企業67.7歳、小規模事業者70.5歳)を迎え、事業承継という経営課題に直面すると言われてしています。

そこで、岡山県商工会連合会では、次世代を担う「後継者の育成」、「円滑な事業承継」を支援していくため、昨年度、好評を得た「これから始める事業承継入門セミナー」、「後継者養成塾」に続き、「おかやま後継者アカデミー」を開催しました。



「おかやま後継者アカデミー」

事業承継に向けた準備として「おかやま後継者養成塾」へ参加
きっかけは1枚の募集チラシから

後継予定者である亮氏が、「おかやま後継者養成塾」の募集チラシを見つけ、自らの意思で申込みを行いました。これがきっかけとなり、今に繋がる①計画的な事業承継へ向けた準備 ②後継者としての勉強がスタートしました。

取り組むべき経営課題の優先順位を
考えながら日々、着実に実行

まず、事業承継支援を切り口に、「自社に関する課題」と「後継者自身に関する課題」に分け、課題抽出を実施。そして、重要度と緊急度から見た優先順位づけを行った後、計

画的に課題解決に取り組んでいます。また、適時、各専門家(公認会計士・社会保険労務士・中小企業診断士等)・中小機構等の支援機関による専門的指導を受けました。

現社長・後継者・支援チームが一体となり、経営課題の解決に取り組み、経営力向上が実現

1年半と言う短期間に、様々な課題解決が実現。成功のキープポイントとして、弘治社長・亮氏の①良好なコミュニケーション ②課題解決へ向けた意識と実行力の高さ ③成果の検証、改善意識の高さ そして、④弘治社長・亮氏・支援チーム(商工会・商工会連合会・専門家・支援機関等)との間に信頼関係が構築できたこと等があげられます。主な取り組み・成果は次のとおりです。

- ①事業価値を高める経営レポートを用いた現状把握・事業承継年表作成
- ②生産工程のボトルネック改善、労務環境改善
- ③経営力向上計画策定への取り組み
- ④パブリシティの活用による企業ブランドの構築
- ⑤ものづくり補助金の活用による新製品開発
- ⑥中小企業事業承継円滑化支援事業(中小機構・連合会・商工会連携支援事業)による事業承継計画策定
- ⑦経営革新計画の策定等々

「おかやま後継者アカデミー」に参加して

亮氏は「経営について全く知識がなかったため、とにかく勉強をしようという思いから申し込みました。セミナーでは経営者としての基礎知識を学ぶことができました。さらに、商工会・商工会連合会・専門家の方々を知り合うことができ、当社に合ったアドバイスや支援を行って下さることが良かったです。」

「事業承継」「後継者育成」は多くの事業所が持つ重要経営課題の一つです。
ご相談は、最寄りの商工会・商工会連合会へ。

岡山県商工会連合会 広域サポートセンター ご利用時間 月曜日～金曜日(祝祭日除く) 8:45～17:15
TEL086-238-5666 FAX086-222-1672